

学校だより



みなみたなか

平成25年10月31日
練馬区立南田中小学校
校長 梶谷 雅弘

11月は、練馬区いじめ防止一掃取組月間です

校長 梶谷 雅弘

「いじめ防止対策推進法」が、9月28日に施行されました。

この中で、「いじめとは、児童生徒に対して、当該児童生徒が在籍する学校に在籍している等当該児童生徒と一定の人的関係にある児童生徒が行う心理的又は物理的な影響を与えた行為（インターネットを通じて行われるものを含む。）であって、当該行為の対象となった児童生徒が心身の苦痛を感じているもの。」と定義しています。なお、起こった場所は学校の内外を問いません。

練馬区では、「いじめはどこの学校にも起こり得るとの認識に立ち、いじめが発生した場合には、いかなる理由があっても被害者の側に立ち、組織で対応する。」ことを基本姿勢に対応しています。

本校でも、「南田中小学校では、いじめをしない。させない。許さない。」を目指して指導をしてきました。これまでも、いじめ防止の指導をしてきましたが、いじめと認識した場合には、管理職も含め、学年や教育相談部が組織的に対応し、状況の詳しい把握に努め、関係児童への指導や働きかけを行い解決に向け迅速な対応を心がけてきました。これからも、全校あげていじめ防止やその一掃に全力で当たって参ります。

なお、今年度は、「練馬区いじめ防止シンボルマーク」の作成に全児童が取り組みます。作成に当たり各学級では、マークに込める思いや願いなどを話し合い全児童が参加できるようにしていきます。そして、活動を通して、いじめ撲滅への決意を新たにさせ相手を思いやる気持ちを育てていきます。

お子さんや他の児童の様子につきまして、何か、お気づきの点やご心配な点がありましたら、遠慮せず、担任や前田祐子心のふれあい相談員・上村尚子スクールカウンセラーにご相談ください。

誠心誠意そして迅速に解決に向けて対応してまいります。

ビブリオバトル(書評合戦)について



ビブリオバトル考案者の谷口忠大さんの講演風景

公益財団法人の文字・活字文化推進機構主催による「平成25年度読書と体験の子どもキャンプ」が、夏休みに二泊三日でオリンピック記念青少年総合センターで開催されました。各都道府県の小学校1校から、5年生、6年生の男女各1名。都内4校から男女各1名ずつ計8名の児童が集まり開催されたもので、本校から、5年生の鳴海 祥さんと6年生の石井菜月さんが東京都の代表8名の一員として参加しました。子供が書評合戦「ビブリオバトル」に挑戦したり、池上彰さんの講演を聞いたりして読書の楽しさや大切さを学ぶとともに、表現力やコミュニケーション力を身に付けることを第一の目的として実施されました。

なお、ビブリオバトル(書評合戦)の公式ルールは、次の4点です。

- ① 発表者参加者が読んで面白いと思った本を持って集まる。
- ② 順番に一人5分間で本を紹介する。(小学生では3分間で実施しています。)
- ③ それぞれの発表の後に参加者全員でその発表に関するディスカッションを2～3分行う
- ④ すべての発表が終了した後に「どの本が一番読みたくなかったか?」を基準とした投票を参加者全員一票で行い、最多票を集めたものを『チャンプ本』とする。

参加した二人に感想を聞いたところ、大変楽しく充実した三日間で、全国の大勢の友達もできたそうです。石井さんは、ビブリオバトルで紹介された本を選び読書感想文に取り組んだそうです。貴重な体験をした二人に12月の全校朝会で、書評合戦について発表をしてもらう予定です。

緊急事態発生時、集団下校が必要な場合も学校で児童を保護し保護者の方に迎えに来ていただきます

9月に集団下校実施時の学校待機希望の調査をしましたが、全校児童332名中212名の方が学校待機を希望していました。この結果を踏まえ、今後、緊急に集団下校をさせなければならなくなった場合も、できる限り学校で児童を保護し、保護者の方に迎えに来ていただくことにいたします。